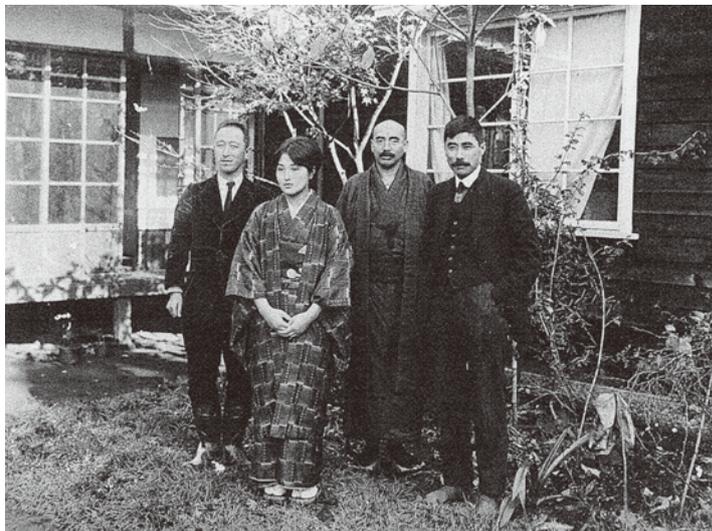




# ファールブル昆虫記を訳した椎名其二展

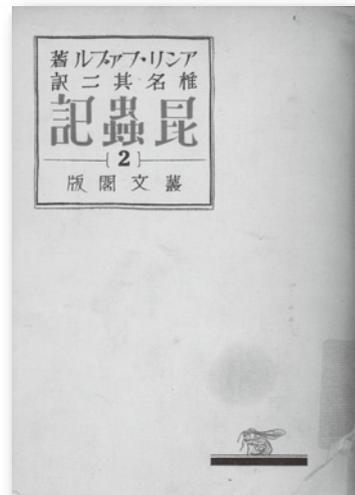
「これこそ私の願ひだった」  
「特別展示」椎名其二装幀書籍



大正15年12月3日「成宗の庭に於て」  
向かって右より其二、兄 純一郎、姪トキ、親友 堀井梁歩



アンリ ファブル 著 椎名其二 譯  
『昆虫記(二)』(昆虫の本能と習性の研究)  
叢文閣 大正13年11月1日発行  
画像は、昭和2年12月16日 普及版



## 其二其ノ二

一八八七(明治二〇)年 角館町に生まれた椎名其二は、  
アメリカ経由で渡仏し、一九二二(大正一一)年に帰国。早  
稲田大学で教鞭をとるかたわらファールブルの『昆虫記』  
第二巻から第四巻を翻訳しました。

皆様からの声により、二〇一九年度に引き続き企画展を  
開催します。この展覧会では、新たな寄贈品や借用品を中  
心に、椎名が翻訳した『昆虫記』にちなんだ資料、小説家  
芹沢光治良こうじろうの書簡、他寄稿文等から其二の足跡を辿ります。

新刊  
ファールブル著  
椎名其二譯  
昆虫記(2)

驚嘆すべき  
昆虫の世界  
崇厳華麗な  
殿堂

大杉氏の遺業は現以後一時中絶せしこの名著  
の翻譯を其事に於て最も努力をなすに於ては、  
通譯の難しき故に、本館に於ては、  
とびつて、著者の遺業を継ぐべく、  
及び、その習性を説くべく、  
の間に珍奇なる百數十種を挿入す。  
(二十日発行)

入高 布版六四  
頁十六百四  
園 頁七十五  
參 頁九拾  
金 價定

東京朝日新聞広告 1924(大正13)年10月12日

※展示資料には図書館資料として利用されてきた本が含まれています。  
そのため、ヤケ、傷み、破れ等がありますが、どうかご理解のほどよろしくお願ひします。

新潮社創業者  
佐藤義亮  
Giryō Sato  
1878-1951  
生誕の地

# 秋田角館



## 新潮社記念文学館 Shincho-sha Memorial Museum of Literature

〒014-0311 秋田県仙北市角館町田町上丁23  
Tel.0187-43-3333 ※仙北市学習資料館共通  
[www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/bungakukan/](http://www.city.semboku.akita.jp/sightseeing/bungakukan/)

新潮社記念文学館  
開館20周年記念

特別公開  
藤田嗣治  
「新京の子ども」

公開期間  
4月11日(土)~6月10日(水)



JR角館駅・秋田内陸縦貫鉄道角館駅から徒歩10分  
駐車場30台